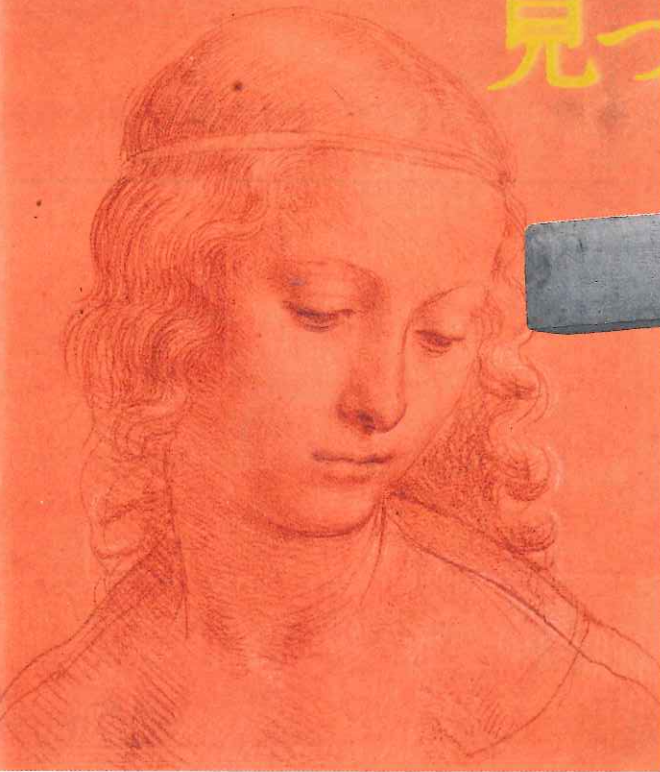


ダ・ヴィンチとミケランジェロ  
見つけた。いいね!



織田信長公岐阜入城・岐阜命名450年記念特別協賛事業

# 特別展 レオナルド×ミケランジェロ展

2017年 10月5日(木) - 11月23日(木・祝)

開館時間 午前9時-午後7時(10月5日・6日・9日は午後5時まで) ※入館は開館時間30分前まで 会期中無休  
観覧料 高校生以上1500円(1300円)、小中学生750円(650円)

※(内は前売および20人以上の団体料金)

以下の方は入場無料①②の方は証明できるものを提示ください

- ①岐阜市在住の70歳以上の方
- ②身体障害者手帳精神障害者保健福祉手帳療育手帳をお持ちの方とその介護者1人
- ③岐阜市内の小中学生
- ④家庭の日(10月15日)・11月19日(日)に入館する中学生以下の方

前売券販売場所:岐阜市歴史博物館チケットセンター(ア) (〒500-8003 岐阜市大宮町2-18-1) (TEL:058-265-314) (ホームページ: <http://www.gifu-np.co.jp/leoniche/>)  
岐阜新聞販売店でお求めいただけます(10月4日まで)。詳細は販売店に問い合わせください。 <http://www.gifu-np.co.jp/leoniche/>

## 岐阜市歴史博物館

〒500-8003 岐阜市大宮町2-18-1(岐阜公園内) TEL:058-265-0010 FAX:058-265-0106

主催 岐阜市レオナルド×ミケランジェロ展実行委員会  
岐阜市、岐阜市教育委員会  
岐阜新聞社、岐阜放送、日本経済新聞社  
後援 駐日イタリア大使館 助成 公益財団法人田口福寿会  
協力 アリタリア-イタリア航空、名古屋鉄道株式会社

協賛



十六銀行

140th Anniversary

JAぎふ





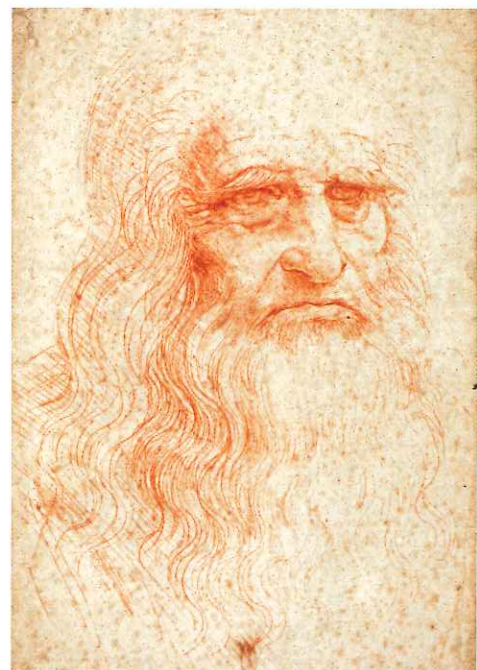
# レオナルド・ダ・ヴィンチ (1452-1519)とミケランジェロ・ブオナローティ(1475-1564)

レオナルドが23歳上ですが、レオナルドとミケランジェロは「宿命のライバル」といわれます。

ヴェッキオ宮殿の壁画での競作や、芸術に対する考え方の違いによる対立など、二人がお互いを強く意識していたことが知られています。本展では、「顔貌」「絵画と彫刻のパラゴネ(※イタリア語で「比較」の意)」「人体表現」「馬と建築」「手稿」「書簡と詩歌」「肖像」のテーマに沿って、二人の作品を対比する日本初の試みです。

## 3つの見どころ

- ①ルネサンスの2大巨匠による稀少な素描を見比べられる日本で初めての機会。
- ②「最も美しい」とされるレオナルドの素描《少女の頭部/〈岩窟の聖母〉の天使のための習作》が来日!
- ③素描のほか、油彩画、彫刻、手稿、書簡など約70点を紹介。(うち日本初公開作品を含む。)



レオナルド・ダ・ヴィンチ《自画像(フラスコ入り)》1515-17年頃 トリノ国立図書館 © Torino, Biblioteca Reale



レオナルド・ダ・ヴィンチ《月桂樹の葉をかぶった男性の顔》1506-08年頃 トリノ国立図書館 © Torino, Biblioteca Reale



レオナルド・ダ・ヴィンチ《大砲を新発した戦争の二つの案》1485年頃 トリノ国立図書館 © Torino, Biblioteca Reale

ここでなら、  
あえる!  
イタリア・ルネサンスに

レオナルドの技法  
左利きのレオナルドは  
左上から右下への  
ハッチングが特徴的です。

## イタリアが生んだ2大天才の素描とは?

ルネサンス期には、「〈自然〉を母として、〈素描〉を父とすると、〈建築〉〈彫刻〉〈絵画〉の3姉妹がいる」として、自然に則ってデッサンすることは、各芸術の基本中の基本であり、決して軽んじることのできない大事なものと位置づけられていました。さらに、素描そのものが作品として重要な価値を持っていたのです。



レオナルド・ダ・ヴィンチ《少女の頭部/〈岩窟の聖母〉の天使のための習作》1483-85年頃 トリノ国立図書館 © Torino, Biblioteca Reale



ミケランジェロ・ブオナローティ《レダと白鳥》の習作のための習作 1530年頃 カーサ・ブオナローティ © Associazione Culturale Metamorfofi and Fondazione Casa Buonarroti

## ミケランジェロの技法

ミケランジェロは右利きで、  
クロスハッチングと呼ばれる、  
斜線を交差させる描き方です。



ミケランジェロ・ブオナローティ《イザックの情勢》1536年頃 カーサ・ブオナローティ © Associazione Culturale Metamorfofi and Fondazione Casa Buonarroti

## 「レダと白鳥」に見る 2人の対比

2人はギリシア神話の「レダと白鳥」のテーマによる絵画を制作しましたが、現在では失われ、追隨者による模倣によってオリジナルの姿を偲ぶことができます。

ミケランジェロの作品と比べて男性性の強調された白鳥が印象的なレオナルドの《レダと白鳥》。画面左下には「レダには、2組の双子が卵から生まれた」とするギリシア神話に基づき描かれています。本作は、レオナルドの弟子の中でも筆頭としてあげられるメルツィの作品の可能性があり、レオナルドが生きた時代にオリジナルを見て描かれたものです。左手に花を持つレダのポーズ、子どもに目を落とす様子はレオナルドが本来描いた構図とほぼ同じものとして現在はフィレンツェのウフィツィ美術館が所蔵しています。



レオナルド・ダ・ヴィンチ《レダと白鳥》1505-10年頃 ウフィツィ美術館 © Firenze, Gallerie degli Uffizi, Gabinetto fotografico delle Gallerie degli Uffizi

ミケランジェロの失われたオリジナル作品はフェッラーラ公アルフォンソ・デステから依頼されました。自身の作品であるジュリアーノ・デ・メディチの墓碑に置かれた《夜》の寓意像の彫刻作品を思わせる、うつむいた女性の優美な横顔が印象的に描かれ柔らかな雰囲気の中でレダと白鳥が向かい合っています。オリジナル作品は、ミケランジェロの弟子・ミーニの手によりフランスへ渡りましたが、17世紀半ばに焼却される末路を辿ります。本作はオリジナルの下絵に基づき、後代の画家・ブリーナにより制作されました。



フランチェスコ・ブリーナ《レダと白鳥(失われたミケランジェロ作品に基づく)》1575年頃 カーサ・ブオナローティ © Associazione Culturale Metamorfofi and Fondazione Casa Buonarroti

芸術として  
夢を届ける



ミケランジェロ・ブオナローティ《ミケランジェロの肖像》1535年頃頃 カーサ・ブオナローティ © Associazione Culturale Metamorfofi and Fondazione Casa Buonarroti

この目でいっしょに!



ミケランジェロ・ブオナローティ《裸を現けた男性裸像》1504-05年頃 カーサ・ブオナローティ © Associazione Culturale Metamorfofi and Fondazione Casa Buonarroti





15世紀イタリアで画家として才能を発揮し、建築、科学、解剖学の分野にまで関心を広げ「万能人」と呼ばれたレオナルド・ダ・ヴィンチ。10代から頭角を現し「神のごとき」と称された世紀の天才彫刻家ミケランジェロ・ブオナローティ。本展は、芸術家の力量を示すうえで最も重要とされ、巨匠の手の動きや対象を見つめるまなざしを直接感じることのできる自筆素描画作品を中心に、ライバルとも評される両者の芸術を対比する日本初の展覧会です。レオナルドの「最も美しい」とされる素描《少女の頭部》や、ミケランジェロが手掛けたとされる、日本初公開となる等身大のキリスト像をはじめ、フィレンツェ カーサ・ブオナローティ、トリノ王立図書館所蔵品を中心に素描画、油彩画、書簡など約70点が一堂に会します。今なお世界の芸術に大きな影響を与える、二人の天才。その息吹と鼓動をぜひ会場でご体感ください。

## Leonardo da Vinci × Michelangelo

- A. ミケランジェロ・ブオナローティ《未完作品、17世紀の彫刻家の手で完成》  
《十字架を持つキリスト(ジュステイニアーニのキリスト)》(部分)  
1514-16年頃 サンヴィンチェンツォ修道院付属墓室 ©Associazione Culturale Michelangiolo
- B. ミケランジェロ・ブオナローティ《現神》1525年頃 カーサ・ブオナローティ  
©Associazione Culturale Michelangiolo and Fondazione Casa Buonarroti
- C. レオナルド・ダ・ヴィンチ《顔が伸びる炎を前にする人物像/論文による研究》  
1483-85年頃 トリノ王立図書館 ©Torino, Biblioteca Reale
- D. レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく《聖アンナと聖母子》1501-20年頃 ウフィツィ美術館  
©Firenze, Gallerie degli Uffizi, Gabinetto fotografico delle Gallerie degli Uffizi



### イタリア・フィレンツェ市から ルネサンス期の作品を 特別出品!

岐阜市の姉妹都市であるフィレンツェ市との文化交流の一環として、フィレンツェ市の協力のもと、ルネサンス期の貴重な作品が特別に展示されます。

二人の巨匠



#### | 関連行事 |

**講演会**  
「ミケランジェロ彫刻の魅力」  
10月22日(日) 14:00-16:00 千葉大学教授 上村清雄氏 定員200名  
※開催日前日までに岐阜市歴史博物館へ電話申込(ただし、定員に達し次第締切)

**講座**  
「イタリア伝統の手工芸 フィレンツェモザイクの歴史と美」  
10月28日(土) 14:00-15:30 モザイクタイル研究家 岩田依子氏 定員40名  
※開催日前日までに岐阜市歴史博物館へ電話申込(ただし、定員に達し次第締切)

**講座**  
「レオナルド×ミケランジェロ デッサンのひみつをさぐる!」  
11月3日(金祝) 9:00-11:30 当館分館学芸員 山本真一  
対象:小中学生20名(小学1-2年生は保護者同伴)  
※10月20日(金) 必着で往復はがきにて受付、応募者多数の場合は抽選

**友の会主催特別講演会**  
「レオナルド×ミケランジェロ 対立と共感」  
10月13日(金) 14:00-16:00 岐阜大学教授 野村幸弘氏 定員100名  
※開催日前日までに岐阜市歴史博物館へ電話申込(ただし、定員に達し次第締切)

**展示説明会**  
10月23日(月)、11月8日(水) 10:30-、16:00-  
※特別展観覧者は自由にご参加いただけます。

**演劇**  
対話劇「生涯のライバル レオナルドとミケランジェロ」  
10月5日(木) 14:00-15:00  
ラ・コンパニア・デッレ・セツジョレ劇団(イタリア) 定員200名  
※開催日前日までに岐阜市歴史博物館へ電話申込(ただし、定員に達し次第締切)  
※鑑賞には特別展観覧券が必要です。

#### | アクセス |

**交通機関**  
JR岐阜駅前・名鉄岐阜駅前からいずれも岐阜バスで  
長良橋・岐阜公園経由で各方面行き[N系統]乗車(約20分)  
「岐阜公園歴史博物館前」下車すぐ  
※便利な「岐阜バス一日乗車券」をご利用ください。  
市内210円均一(区間乗り放題) 大人450円、小人230円  
岐阜バスターミナル、JR岐阜駅案内所、岐阜バス各営業所で販売

**駐車場**  
岐阜公園境外駐車場(1回300円)、  
鏡岩緑地駐車場(河川敷駐車場・無料)をご利用ください。  
10月15日(日)までは8:30-22:15  
10月16日(月)-11月23日(木)は21:00まで営業  
※市営金公園地下駐車場・岐阜駅西駐車場では割引サービスを実施しています。  
その他、駐車場情報については展覧会ウェブサイトをご覧ください。  
※駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



**岐阜市歴史博物館**  
〒500-8003 岐阜市大宮町2丁目18番地1  
Tel.058-265-0010 Fax.058-265-0106  
URL <http://www.rekihaku.gifu.gifu.jp>